

エコニュース さって



第 63 号
平成 28 年 2 月 17 日
さって市民環境ネット
TEL 48-0331

「第35回幸手市健康福祉まつりに参加して」

報告：澤村

さって市民環境ネットの展示コーナーは今年も大盛況でした！

11月1日(日)10時～15時、「健康福祉まつり」が昨年と同様にウェルス幸手においてアスカル幸手の「幸手市文化祭」と同時開催され、30団体が参加し、年毎に盛況になり、今年は1,600人(昨年1,400人)が来場してくれたそうです。

来場者のアンケートから、①全般的に満足以上の率が85%、②年々、参加者の障害者に対する認識や健康に対する意識が“まつり”を通じ高まっている、③幸手市として“健康”“福祉”に対する考えをいっそう発信して欲しい、④来年も継続して欲しい、など多くの好評的なコメントがありました。

さちネットの環境ブースも昨年よりも大幅増の多くの方に見ていただき、参加者数471名、独自のクイズラリー紙への参加回収者数416名(去年は343名)でした(次ページ表参照)。景品は環境課にエコグッズ(水きりネット、洗剤不用スポンジなど)を用意していただき、大変好評でした。

環境ブースの展示内容は、2階での上映会は都合によりできなかったが、他は同様で①腐葉土と野菜づくりの会、②浮きウキフェスタ27、③中川流域と近隣のジオラマ、④エコライフDAY 2015とグリーンカーテン(ゴーヤ)栽培及び⑤市民環境講座の各コーナーの担当者が年間の活動内容を懇切・丁寧に説明し、そして質問に対しては相手の立場に合せて応えるなどして、来場した皆さんに当ネットの活動内容をアピールし、環境配慮・保全活動に理解・関心をもっていただくことができました。

来場者からは、「勉強になりました」との多くの人から声が聞こえ、クイズラリーは「おもしろい」との評価が得られました。ただ、当健康福祉まつり全体に次世代を担う中学生、高校・大学生が極端に少なく、参加を促す施策が大きな課題と言えます。



クイズラリーの答え合せ



ジオラマで中川流域の勉強

	小学 未満	小学	中学	高・ 大学	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 代	80 歳 代～	不 明	合計
男 性	11	8		1	5	15	11	6	14	12	2	5	100
女 性	6	20	4	2	7	30	26	22	45	48	2	22	234
性別不明	1	8	2	2							1	68	82
合 計	18	36	6	5	12	45	37	28	59	60	5	95	※416

※クイズラリー参加者数471名、回収数416名

「第2回市民環境講座 環境学習見学会」

報告：坂本

平成 27 年 11 月 11 日（水）朝 8 時 30 分、バスは幸手市役所からいよいよ出発です。8 日から降り続いた雨も止み、環境学習見学会にとっては恵まれた天気となりました。一行は、応募した市民 24 人、市民環境ネットのスタッフ 6 人、市役所環境課の職員 2 人、総勢 32 人です。目的地は森永製菓小山工場（栃木県小山市）、と株式会社エフピコ関東リサイクル工場（茨城県八千代町）です。

まず午前中は、森永製菓小山工場に行きました。ここは子供たちの大好きなお菓子工場です。見学者は私たちの他に幸手市立行幸小学校という掲示があり、栃木県小山市に来ても、同じ幸手からの見学者だと思いと親近感がわいてきました。

ここでは、キャラメル、生ラムネ、チョコボール、エンゼルパイを作っています。菓子メーカーだけに衛生管理には特に注意を払っています。製造工程を密越しに見るだけなのに、頭には帽子、手はアルコール消毒、服はホコリを取り払うための強い風、靴はスリッパにはき替えるといった徹底ぶりです。



森永製菓小山工場にて

工場内は機械化が進んでいます。機械からキャラメル、チョコボール、エンゼルパイが次から次へと作られ、包装も休むことなく機械が忙しく動いています。従業員の方も工場内で作業していますが、全身を白い作業服で覆い、顔だけ見える形で作業をしています。衛生的な環境でお菓子を作っていることがよく分かりました。

この工場では、チョコレートを作るために沢山の 카카오豆を使っています。カカオ豆には「ハスク」という皮があり、これを

取り除かなくてはなりません。1 年間にこの「ハスク」の量は約 1000 トンにもなります。この「ハスク」を廃棄物とせず、農作物の肥料や家畜のエサとして再利用しているとのことでした。

お菓子を作る工場として、製品を衛生的に作ることは当然としても、作る過程で発生した廃棄物に対しても、資源として再利用していることが森永製菓の素晴らしいところだと感動しました。

午後は株式会社エフピコ関東リサイクル工場へ行きました。エフピコという会社は、スーパーなどでよく見かける刺身や肉などの簡易食品容器（トレー）を製造・販売している会社です。しかし、それだけではありません。リサイクル工場では一度使用した容器を回収し、再度容器を生産しています。エフピコのリサイクル工場は、全国に 3 か所ありますが、その一つがこの関東リサイクル工場です。

26年度エフピコ全体のリサイクルの実績は、トレー6300トン、透明容器1800トン、ペットボトル2300トンを回収し、トレーやペットボトルを再生産しています。まさにエフピコは、循環型社会を実現しています。

また、この工場では障害を持った多くの人を従業員として採用しています。その作業は、リサイクル可能な容器とそうでないものに分別をしています。ベルトコンベヤーに向かい、わき目も振らず、一心に、素早く分別作業しているところを見ると敬服します。とにかく早く、正確に作業しているところは立派だと思いました。現在、障害者の法定雇用率（法律で障害者を雇うことになっている割合）は2.0%になっていますが、なんとエフピコは、14.98%（平成27年3月現在）です。いかに障害をお持ちの人を多く採用している会社であるか数字で示しています。環境面だけでなく、エフピコは雇用面についても社会に対し貢献している会社であるかが分かります。



エフピコの説明を熱心に聴く参加者

私たちの生活では、安くて、衛生的な容器は欠くことが出来ません。しかしその容器を使い捨てにしてしまえば、廃棄物は増える一方となり、限りある資源の無駄使いとなります。エフピコは、循環型リサイクルを積極的に推進し、廃棄物を資源とし、地球環境にやさしい会社です。スーパーで買ったお弁当の裏側にはエフピコという文字が書いてあるかもしれません。そうです、あのエフピコのトレーです。

「第10回子育て応援まつり」

報告：久保田

平成27年12月13日（日）、ウェルス幸手にて「子育て応援まつり」が開かれました。今年は節目の10年目、中央ステージでは例年のプログラムに加え、Y*S Corsaire（コルセイル）といい、ピアノ・ボーカル2人姉妹のユニットによる特別ライブ演奏が企画されました。

さって市民環境ネットは、活動を紹介するパネル展示と「親子で遊びの工作」コーナーを行いました。活動紹介では腐葉土と野菜づくりの会、浮島づくり、エコライフDAY地球温暖化防止などのパネル展示を、遊びの工作コーナーでは、アンパンマン・ジグソー、折り紙とんとん相撲、糸電話、紙コプター、フーフーボール、ふわふわネコ、磁石で釣りゲーム、紙の飛行リングなどの遊びを用意しました。例年参加していました映写会ですが、残念ながら今年はフィルム貸し出し側の都合で、フィルムの調達ができずお休みとなりました。

「親子で遊びの工作」とうたいながらも、参加する親子ばかりでなく、さって市民環境ネットのスタッフ5名と男子中学生ボランティアの2名も加え、あたかも3世代一緒になって楽しんで遊んでいる風でした。どの遊びに興味を示すか、どの遊びを一生懸命するか、去年もそうでしたが子どもたちの関心の持ち方に個性が現れていておもしろかったです。



ふわふわネコづくりに集中



さかなをつる子供たち

第129回腐葉土と野菜づくりの会

報告：澤村（以降、同じ）

7月19日（日）、朝から晴で猛暑、出席者18名。

今回の作業：エダ（奥）マメ苗植え、熟成腐葉土の頒布、草取り。

19日は海の日で、数日前から雨が降らず、8時開始でしたが、早朝から30度を超え、暑くて汗びっしょりの作業でした。有志で10日前の7月9日に昨年収穫した種マメを播き、鳥に食べられないようにネットを被せて水遣りし、そして芽が出るまで数日間水遣りをしました。幸い、途中雨も降って順調に育苗できました。作業は、熟成腐葉土の袋詰めとエダマメ苗植えの2グループに分かれて、後でエダマメ苗植えに合流しました。地主が既に耕してくれた畑で、畝縄を張って幅約80cmで畝をつくり、マメ苗2本ずつを30cm間隔で植えました。

第130回腐葉土と野菜づくりの会

8月9日（日）臨時開催。晴で猛暑、出席者13名。

今回の作業：猛暑が続いたので午後5時からサツマイモ畑とエダマメ畑の草取り。

8月23日（日）8時開始、うす曇り、出席者16名。

今回の作業：熟成腐葉土の頒布、畑へのダイコンの種まきを前に草取り実施。その後に熟成腐葉土、鶏ふんと化成肥料（チッソ：リン：カリ＝14：14：14）（少量、元肥え）を散布。

比較的涼しい日でしたが、畑の草が繁茂していて茎が太く根が張っていて、草取りが力作業となり、取った草が大きな山となりました。それでも全部の草は取りきれず、取敢えずダイコンの種を播くところだけとしました。時間の合間を見てサツマイモのつる返しを行いました。

【会員募集中！】環境保全活動と一緒にやっていただく方を募集しております。是非、貴方も参加しませんか。〔さって市民環境ネット〕 ★問い合わせ 澤村 邦夫（代表）まで TEL 0480-42-3384

幸手の環境活動グループ：幸手権現堂桜堤保存会、権現堂川地域環境保全協議会、幸手自然愛護会、幸手ひがし幼稚園、エコ・グリーン幸手、くらしの会、上高野婦人会、倉松探検隊、幸手中央ロータリークラブ、すこやか「食」の会、子育て支援ねっとわーく、いきがい・はなみずきの会（いきがい大学伊奈学園20期）